

令和7年度和歌山県立那賀高等学校第1回学校運営協議会

1 日 時 令和7年6月17日（火） 13:00～14:40

2 会 場 那賀高等学校 応接室

3 日 程

（1）開 会

（2）校長あいさつ

委員への出席に対するお礼

（3）学校運営協議会委員自己紹介

出席：岸田 正幸 大西 英喜 川崎 勝規 北田 のぞみ 森 文哉

（4）学校運営協議会 会長（議長）、副会長選出

会長：岸田 正幸 氏 副会長：細田 能成 氏

（5）協議題

（1）きのくにコミュニティースクールの取組について

（校長説明）

リーフレットで説明。育てたい生徒像に向けて学校と地域で組織。那賀高校にとっての地域とは岩出市、紀の川市、和歌山市。運営協議会の役割、議論する内容について。

（2）本校を取り巻く現状等について

（校長説明）

資料により本校の現状を説明。紀北地方の中学校卒業人数について。R8に伊都地方が少し減少するが紀北地方としてはおおむね現状維持。入学者の地域別割合は今年度は岩出市が105名で約3割。紀の川市、和歌山市からもそれぞれ約3割ずつ。進学状況はR6卒業生で国公立が24名。看護・医療系への希望も多い。地域連携事業、国際交流事業にも引き続き取り組む。

- ・オーストラリア研修は修学旅行とは別か。
- ・2年生の国際科が行くのはシアトルで国際科の修学旅行の位置づけ。
- ・国際科と普通科で50人程度応募あり、行けるのは33人。
- ・私立は関西が多く国公立は地方が多い。魅力ある学部学科があるのか。
- ・進路指導部の先生と相談する中で決めていく。早稲田に1名一般で進学した。
- ・ここ5年で進学水準は維持できているか。学校が選んでもらう理由になる。

（3）令和7年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針等について

（校長説明）

- ・令和6年度学校評価シートによる振り返りと令和7年度学校評価シートによる説明。目指す学校像、育てたい生徒像についてはより具体的に記載した。
- ・総合的な探究の取組について。那賀振興局の職員による出張出前授業をお願いしたい。
- ・選挙については今回県知事選挙の前に那賀振興局とPR活動を実施。
- ・「総合的な探究の時間」のブラッシュアップ、ICT環境の更なる整備が必要。
- ・地域交流として硬式野球部の紀伊コスモス支援学校との交流を継続、岩出駅前活性

化事業にも協力していく。

- ・重点目標は昨年と同じ四本柱。
- ・今年3月に学校のホームページを新たにしてお見やすくした。
- ・国際交流活動の推進。具体的取組として国際教育推進事業は全校生徒対象。国際科育成事業は国際科生徒対象。2本柱でしっかりやっていく。
- ・徹底した授業改善の実施。
- ・献血活動について。選挙もそうだが若いときから行き始めることが大切だと思う。社会貢献になるため学校として、積極的に推進してほしい。
- ・毎年文化祭と併せてやっている。
- ・進路ガイダンスの内容の充実を。

(4) その他

- ・生徒ホールの運営について。物価高騰、人件費の高騰、光熱費の高騰で経営が厳しい状況。今年度は育友会で高熱水費の補助も考えている。
- ・価格設定は500円程度で生徒の負担が大変にならないようにしている。
- ・自転車について、取り締まりも厳しくなっている。意識的に自転車の交通安全指導をしなければいけない。命を守るために高校生もヘルメット着用が必要。ながら運転（スマホ、イヤホン）にも注意。

(6) 閉会

校長謝辞

4 資 料

- (1) 和歌山県高等学校運営協議会規則
- (2) きのくにコミュニティースクールリーフレット
- (3) 本校の現状等（資料1～3）
- (4) 令和7年度入学生用学校案内パンフレット
- (5) 令和7年度学校要覧
- (6) 令和6・7年度学校評価シート
- (7) 令和6年度育友会だより（第73号）

